

ゆがわ 議会だより

令和元年

第111号

10月29日発行

表紙：交通安全パレード（9月13日）

主な内容

- ◆ 決算・監査意見・財政健全化 …… P 2
- ◆ 9月定例会提出議案審議 …… P 4～5
- ◆ 一般質問（7議員が村政を問う） …… P 6～12
- ◆ 委員会報告・行政調査 …… P 13～15
- ◆ 議会の主な動き・編集後記 …… P 16

みんなで交通ルール
を守りましょう！

借入金残高は 28億4294万円

9月 定例会

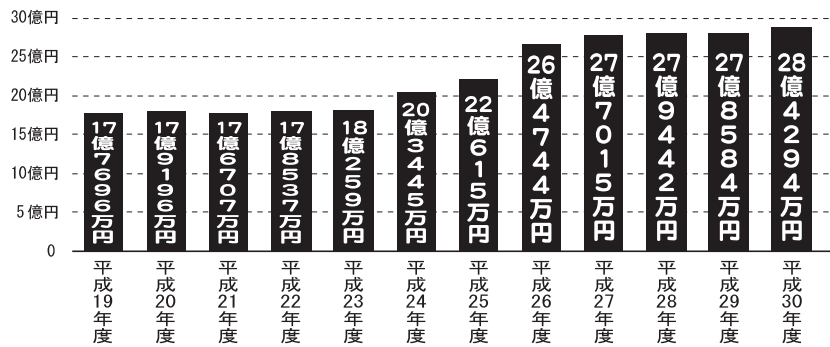
【平成30年度各会計の決算状況】※「墓地事業特別会計」分は「一般会計」に含んでおります。

会 計 名	歳 入(A)	歳 出(B)	議決の内容
一 般 会 計 ① (対前年度比)	28億7794万円 (107.1%)	27億1042万円 (106.8%)	全員賛成により認定
特 別 会 計 ② (対前年度比)	10億307万円 (99.4%)	9億8169万円 (102.6%)	
1 国民健康保険	3億6961万円 (82.0%)	3億6342万円 (83.5%)	賛成多数により認定
2 特定環境保全 公共下水道事業	1億479万円 (93.3%)	1億354万円 (93.6%)	全員賛成により認定
3 農業集落排水事業	5258万円 (100.9%)	5131万円 (100.4%)	全員賛成により認定
4 介護保険	4億4174万円 (105.4%)	4億2927万円 (104.9%)	全員賛成により認定
5 後期高齢者医療	3435万円 (101.6%)	3415万円 (101.4%)	全員賛成により認定
合 計 (① + ②)	38億8101万円 (103.3%)	36億9211万円 (103.2%)	

9月定例会が9月12日から20日までの9日間の会期で開催されました。村長から提案された平成30年度各会計の決算認定をはじめ、補正予算や条例改正、人事案件など、24件が審議され、すべて認定、可決、同意されました。また、17日・18日の2日間行われた一般質問には、7名が登壇し三澤村政について問いました。

ここが知りたい！

村債(借入金)の推移



監査意見

財政健全化に全力を

各会計決算は、計数に誤りなく、証書等も整備され、会計経理はおおむね適正に執行されていた。経常収支比率は92.0%、財政力指数は0.245となっている。今後の地方財政は、税収入等の見通しが不透明な状況にあり、関係経費の増加などにより厳しい環境にある。

施策と財政の均衡あるバランスを十分に考慮し、PDCAサイクルの実践による事業管理と適切な事業量・事業費の見直し、将来に向け安定した行政サービスが継続できるように健全財政の運営を望むものである。



村長へ監査意見書を提出

(右から三澤村長、東条代表監査委員、小野監査委員)

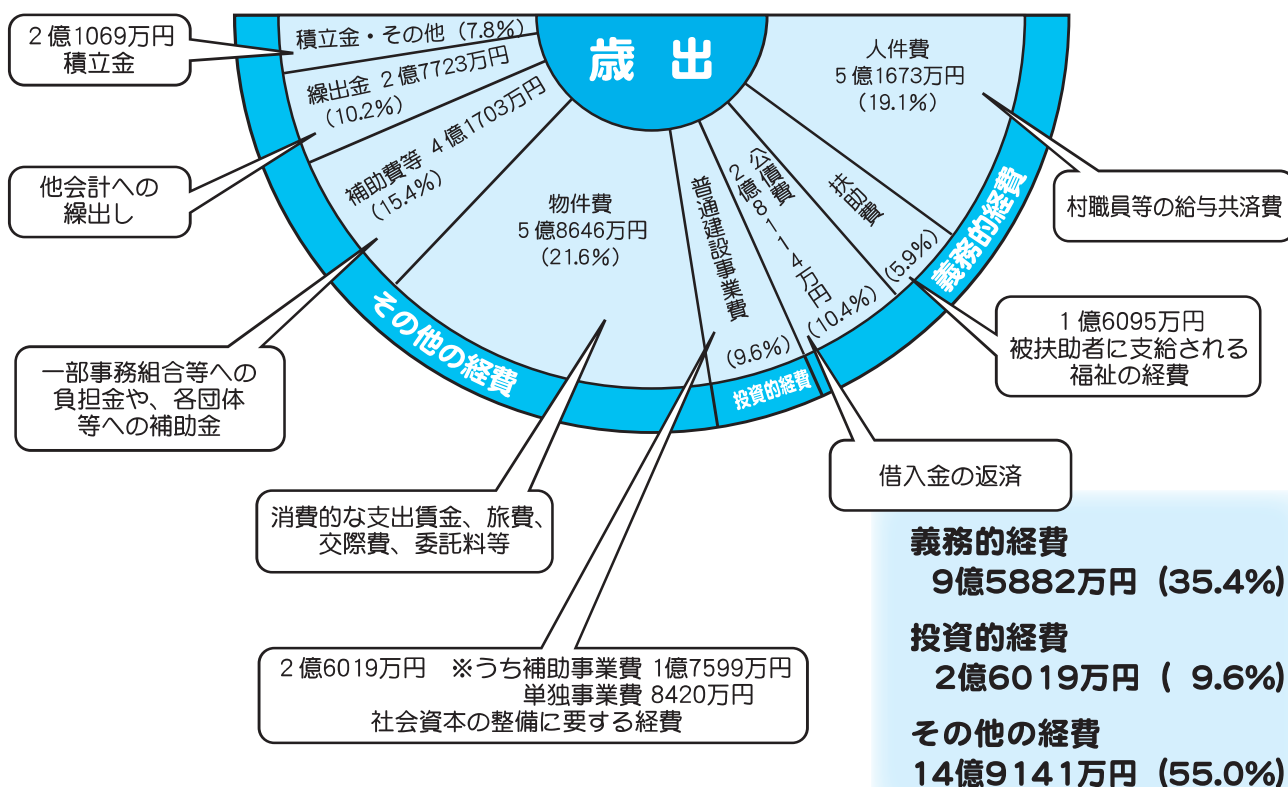
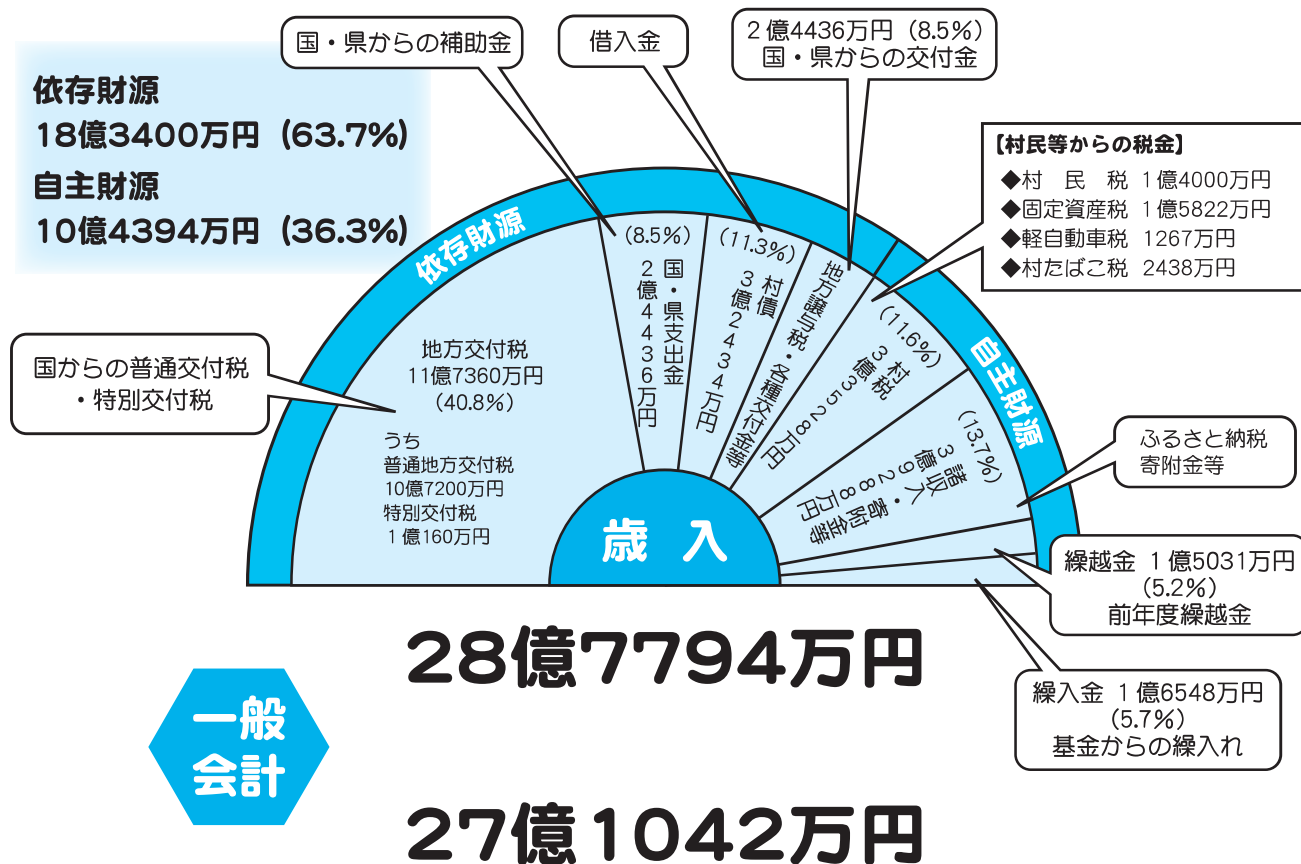
※経常収支比率…自主財源に占める経常的経費の比率 財政力指数…基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値

※PDCAサイクル…Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)を繰り返すことによって、業務の効率化、改善を図っていく手法のこと。

決算 審議

財政指標は「健全」

～ 更なる財政健全を求む ～



第530回 9月定例会に提案された24件の議案は、下記のとおりすべて原案可決(14件)、認定(7件)、原案同意(3件)されました。

第530回 9月定例会における議員の賛否の公表

(湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。)

議案 番号	件 名	賛否	1 片 桐 英 子	2 三 澤 榮 三	4 高 倉 好 博	5 菅 沼 弘 志	6 小 野 澄 雄	7 小 林 孝 一	8 小 野 淳 一	9 篠 竹 正 弘	10 斎 藤 賢 一
47	平成30年度湯川村一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
48	平成30年度湯川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	議長
49	平成30年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
50	平成30年度湯川村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
51	平成30年度湯川村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
52	平成30年度湯川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
53	平成30年度湯川村墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
54	消費税率及び地方消費税率の改定等に伴う関係条例の整理に関する条例について	可決	×	○	○	×	○	○	○	○	議長
55	湯川村税条例等の一部を改正する条例について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
56	湯川村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
57	湯川村森林環境譲与税基金条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
58	湯川・会津坂下地域振興施設整備基金条例について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
59	湯川・会津坂下地域振興施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
60	湯川村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
61	湯川村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
62	令和元年度湯川村一般会計補正予算(第3号)	可決	×	○	×	×	○	○	○	○	議長
63	令和元年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
64	令和元年度湯川村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
	令和元年度湯川村介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
66	令和元年度湯川村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
67	令和元年度湯川村墓地事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
68	湯川村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	遠藤 弘 氏 (沼ノ上)								議長
69	湯川村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	浅沼 勝 氏 (笈川)								議長
70	特別功労者の表彰につき同意を求めることについて	同意	佐藤 誠 氏 (王領)								議長
選挙 5号	副議長の選挙について	当選	篠竹 正弘 議員								
選任 第4号	議会運営委員会委員の選任について	選任	小野 澄雄 議員								
選任 第5号	総務文教常任委員会副委員長及び議会運営委員会委員長の選任について	選任	総務文教常任委員会副委員長 片桐 英子 議員 議会運営委員会委員長 小野 澄雄 議員								

*「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

議案の主な内容

＜議案第62号 令和元年度一般会計補正予算（第3号）＞

今回の補正予算は、歳入歳出それぞれ1億4803万3千円を追加し、総額を27億4262万1千円としました。ふるさと納税の財源を活用した下記の事業のほか、ふくしまオール特A獲得推進事業補助金270万円等が追加予算として計上され可決されました。

〔ふるさと納税財源事業〕

- 生産数量面積目安達成者上乗せ助成金（631万円）
振興作物転作助成及び新規需要米（備蓄米・飼料用米等）について、3,000円/10aを上乗せして助成する。
- 湯川産米PR事業助成金（410万5千円）
5kg分のお米券を非農家の方（農業経営面積及び農地所有面積がともにゼロの方）を対象に助成する。
- 農業振興基金積立金（5846万5千円）
ふるさと納税剰余金を基金に積み立てるもの。



- ふくしまオール特A獲得推進事業補助金（270万円）
ドローンを使って村内の水田を空中から撮影し、稲の生育を一枚の圃場ごとにデータ化（施肥計算分析マップを作成）し、収量、品質のバラツキを確認しながら追肥や土壌管理に役立たせるもの。

意見 この事業を活用した今後の営農体制の充実・強化を求む。



お知らせ【議会構成の変更】

第530回湯川村議会において、8月31日付けで佐野盛至前副議長が辞職したことを受け、新副議長に篠竹正弘議員が就任されました。

この度、9月定例会におきまして、湯川村議会副議長に就任しました篠竹正弘でございます。

議員になり丸4年が過ぎましたが、副議長という大役をいただき身に余る光栄と感謝いたしますとともに、責任の重さを感じているところです。

副議長という立場を踏まえ、議長を補佐し、議会、当局と議論を交わし、より良い議会運営に努めていきたいと思っております。

「議員の心構え」に、「執行機関と一歩離れ、二歩離れるな」、「住民の声や心を代表する」とあります。これらのことを忘れずに、これからも議員活動・議会運営に取り組んでいきたいと思っております。

よろしくお願いたします。



副議長
篠竹 正弘
57歳 浜崎
2期

村政を問う

一般質問

9月定例会

三澤 栄三
議員

道の駅あいつの新体制について

問

道の駅で、裁判沙汰になったり、内規違反で内部告発があるなど、マスコミに取り挙げられ町村民は大変心配している。6月上旬から新体制でスタートしたが、どのように改善しているのか？

答

小林代表取締役のもと、社内コミュニケーションのあり方、社員教育、コンプライアンス強化およびコーポレートガバナンスの改善等を図っている。酒井専務が駅長代行として、職員間、各部門間の連携改善に向け、取り組んでいる。そのほか、取締役会の開催を増やし、社長、専務、駅長、総務及びサービス部マネージャーのみで行っていた経営会議を誰でも参加できるようにするなど改善を図った。

問

なぜこのような事件が起こったのか？

答

「明け渡し請求訴訟」については、会社でのテナントへの不適切な初期対応、「内部告発」については、会社内部の通報制度の不備があったためと推測する。

宮古橋を赤色に塗替え、観光名所に！

問

宮古橋は道の駅あいつに隣接する大変重要な橋であるが、老朽化が進み、橋の欄干は塗装が剥がれ錆びて傷んでいる。赤色に塗装すれば、柳津町の赤色、慧日寺の赤色、そして宮古橋の赤色となり、仏徒の観光名所となる。橋の塗替え塗装を国に要請していただきたい。

答

柳津町の柳津橋等、は、只見川に赤い橋が映える観光スポットとな



道の駅から見た宮古橋

っており、宮古橋においても検討する必要性がある。国が実施した橋梁定期点検では、状態は「健全」という判定であり、早急な対策が必要という状況ではない。村としては、地域の方のご意見を伺いながら、今後とも状況把握に努めていく。

マイナンバーカードの取得 職員に推進

問

国は、マイナンバーカードを2021年3月には健康保険に適用するとしている。また、公務員には取得義務にしているといるが、村の対応は？

答

村における7月末時点のマイナンバーカードの交付件数は296件で、交付率は約9.1%となっている。国では、国家公務員及び地方公務員等について、年度内の「カード取得推進」を図っている。村では、職員にも取得を推進しており、今後も、広報誌等を活用しながら住民へも情報提供をしていきたい。

【要望】

毎年、成人式には30人以上の方が参加されています。この機会に各自の写真を撮影し、記念マイナンバーカードを配付すれば、ふるさとを思ふ気持ちもわき、普及率も上がるのではないかと

村政を問う

一般質問

9月定例会

高倉 好博
議員ふるさと応援寄附金
新規需要米作付け者
へ支援

問 今後の村づくり、
なかでも農業の目指
す位置づけは？

答 農業は村の基幹産
業であり、水稲の振
興は勿論のこと、畑作、施
設園芸等においても推進を
図っていく。また、消費者
ニーズや市場動向に即応し
たブランドの確立や地産地
消及び六次産業化の推進等、
農業と他産業を結びつけた
特色のある新しい事業の定
着に努め、湯川村の農業・
農地を守っていくという大
きな使命感をもって、農業
施策に取り組んでいく。

問 ふるさと応援寄附
金の財源を農家支援
として、稲作農家へ助成す
べきではないのか？

答 米の需給調整を図
ることに重点を置き、
新規需要米作付け者への助
成を考えている。

役場職員の村内居住、
民間アパート誘致へ

問 役場職員について、
村外居住者が多いが、
村内居住対策などを考えた
ことはあるか？

答 本村には民間のア
パートがほとんどな
く、若い職員が、村に住み
たくても住めない現状にあ
る。今後は、「居住移転の
自由」を尊重し、民間アパ
ートの誘致等の対策を職員
の意向なども考慮しながら
検討したい。

小人数学級できめ細
やかな指導

問 少子化時代の活力
ある学校教育に向け
ての取組は？

【教育長答弁】

答 村における学校教
育については、次の
4つの取り組みを行ってい
く。

- ① 少人数の学級のため、一
人一人の子どもに目が行き
届くきめ細かな指導をする。
- ② 地域学校協働活動を積極
的に推進する。
- ③ 教育委員会、保育所から
中学校までの教職員すべて
が、共通目標・認識で『生



笈川小学校の校舎

幼・小・中

一貫教育を目指す

問 これまで小学校の
統合については、
「統合せず小さいながらも
頑張っていきたい」と答弁
してきた。2・3ヶ月で方
向性が変わったのか？

答 統合については、
役場庁舎内の検討結
果を踏まえて、幼・小・中
の一貫教育を目指してい
きたい。

まれてから中学校卒業ま
での15年間をつなぐ教育』を
めざし取り組む。

④ 小規模校である本村の小
中学校では、縦割り班の活
動を多く取り入れ、下級生
は上級生を敬い、上級生は
下級生の面倒をみることに
より、思いやりの心を持っ
た子どもたちが育てる。

村政を問う

一般質問

9月定例会

片桐 英子
議員管理栄養士
非常勤職員で対応

問

管理栄養士の雇用方針の変更について、6月議会では、非常勤職員を雇用し、週3〜4日の勤務では間に合うとの回答だった。例えば、先に問題視している児童クラブのおやつについては、余裕がなくてできないとのことだったが、それはおさなりにすることではないか。正規の栄養士



増築が進む保育所調理室

答

の雇用が必須と考えるが、雇用方針変更の見解を求める。

今年度まで行なっている保育所給食管理は、民間へ委託する方針であり、業務量が減少することから、来年度の管理栄養士の採用は正規職員ではなく、会計年度任用職員の一般職非常勤職員の任用と考えている。

問

学校給食費無料化対策枠の拡大について、昨年より、村内幼稚園、小中学校に在籍する第3子以降の給食費が無料となった。しかし、例えば長兄子が高校生の場合は無料の対象から外れる。賃金水準が低い会津地域で子育てするには経済的支援が必要であり、対象枠を18歳以下の第3子以降にできないか？

答

仮に、18歳まで引き上げた仮定し試

補聴器購入の一部助成について

問

難聴になると、家庭内でも社会的にも孤立しやすく、情報が入りにくくなり認知症につながることもある。補聴器は高額なため、購入をためらったり、片耳だけ装着している方もいる。そこで、補聴器使用により活動的な生活を送れるよう購入費用の一部助成と購入者が補聴器に慣れるまでの継続的な支援が必要と思うが見解を伺う。

答

補聴器は、片耳1台5万円を超える高

額な機器のため、容易に購入できるものではないことは認識している。高齢者への支援は、地域包括支援センターで実施している認知症教室等において、難聴と認知症との関連について、相談があった場合、支援策の提案を実施できるよう努めている。

有機野菜栽培推奨について

問

有機野菜栽培の推奨について、出荷農家を中心に有機野菜栽培を進める方策をとってほしいが見解を伺う。

答

国及び県において有機農業に関する補助事業や栽培マニュアルの作成・提供等による支援事業を実施しており、積極的に活用できるよう推進して参りたい。

村政を問う

一般質問

9月定例会

菅沼 弘志
議員

役場職員の働きやすい環境は必要

問

最近、職員の自損行為、精神疾患による退職等、村民と村にとつて不利益な問題が生じている。良好な役場環境は、相互に対等な関係で快適に働くことができ、村民のための村民本位のむらづくりの基盤となるものである。そこで、職員の苦情相談の窓口・体制について伺う。

答

総務課では現在もセクシユアル・ハラスメント以外の相談も受け付けることができますが、規程においては限定した表現であるため、様々なハラスメントに対応することを周知するためにも規程の改正も視野に引き続き対応してまいりたい。

問

あらゆるハラスメントに関する防止策について？

答

村としては、ハラスメントについて正しく認識できるように研修を行う必要があると考える。また、並行してストレスチェックを活用し、高ストレス者に対する医師等の面談機会を設けるなどの予防策を引き続き実施して参りたい。

問

福祉分野の専門資格を有する職員の採用について

答

来年度、管理栄養技師を会計年度任用職員として一般職非常勤職員での採用を考えている。

問

農業体験の少ない職員の研修について

答

本年度から職員間の横の連携を強化する目的で他部署の業務を学習する庁舎内研修会を実施した。農政についても今後の研修題材として検討して

行きたいが、日常の業務量は年々増え、職員の労働環境は厳しいものがあり、できることから実施して行きたい。

中学校エアコン工事費
総額8550万円

問

今年3月定例会で、湯川中学校エアコン設置工事の予算が可決されたが、類推するだけでも一般的に想定される価格とは相当に乖離していると思われる。設計の概要が不明なまま工事が行われようとしているが、村民のための財産について、理解されないまま工事に入ること自体あり得ないと思われるが？

答

キュービクルの工事は、既存施設が築30年近く経過し老朽化が激しく、施設の安全性を確保する必要があることなどの理由により増設することと

した。

エアコン機器の購入は、製品規格の選定は勿論だが、エアコン工事が全国一斉での発注工事となっていることから、価格への影響も充分に考慮し市場の状況も加味しながら設定した。



工事が進められている湯川中キュービクル



篠竹 正弘
議員

村政を問う 一般質問

9月定例会

ドラレコ設置助成 現時点で考えなし

問

交通安全の向上と、犯罪抑止を目的に、安心・安全な村づくりにつながる意味でもドライブレコーダー購入費用の一部を助成する考えはあるか？

答

ドライブレコーダーの普及率は31・7%となっており価格も5千円程度のものから販売されている。ある程度設置が進んでいる状況や、価格も比較的安価なことを考慮すると、購入費用を一部助成する考えは現時点ではない。

問

官民一体型で地域コミュニティを高め、村民参加型の防犯システムの構築も必要ではないか？

答

現在、村民参加型の防犯システムとしては、笈川小学校で地域見守り隊が結成されている。

また、防犯連絡会も結成されており、有事の際にパトロール等を行っている。今後は、①勝常小学校区における「地域見守り隊」の結成、②防犯連絡会と地域見守り隊との協働活動の実施により、官民一体で地域コミュニティを高めていきたい。

問

2019年版公式ポスター「来て」を活用し、本村の魅力・活気ある村づくりに取り組むべきではないか？

答

今年度から風評払拭と風化防止に向けて、福島県と協働により、村の田園風景を映した「来て」のポスターを作成しており、湯川村を知って頂き、湯川村を訪れるきっかけとして頂きたいと思っている。また、「湯川村オンラインプロジェクト」と称して、WebページやLINE@（ラインアット）での情報

発信を進めている。

ふるさと応援寄附者 村の宝

問

ふるさと納税が予定された金額を大きく超えたことは、本村の米が評価されている結果ではないか。今後、大事なファンの関係人口を築いていく考えはあるか？

答

今年度のふるさと応援寄附金の実績について、8月30日現在、全国47都道府県より2388



村の田園風景を写した
「来て」のポスター

名の方々から、総額1億5千4百万円あった。返礼品は、米が2131俵、お酒が134本である。村としては、リピーターを大切に、寄附していただく方を村の宝ととらえ、湯川ファンクラブへ加入いただいている73名の方々へ、毎月、村の広報誌等を送付し、少しでも村を解っていただくようPRを図っている。今後、村が予定している定住促進事業や若者定住事業などを紹介しながら事業の拡大に向け、日々取り組んでいきたい。

村政を問う

一般質問

9月定例会

小野 澄雄
議員ネーミングライツの
導入 調査研究

問 健全財政に向けて、自主財源の確保と考
え方について伺う

答 自主・自立的な財政運営を実現するため、あらゆる角度から自主財源の確保に努めなければならず、地方税については、徴収率の向上、滞納者等については県滞納整理機構等と連携し、滞納の完納に努めていく。

また、国民健康保険税、住宅使用料などその他の歳入についても、納期内納付を推進し、早期催告や厳正な滞納処分を努め、徴収率の向上に努めていく。

さらには、村保有の資産が有効活用できないか様々な角度から検討していきたい。例えば、村の所有する施設などに会社名やブランド名を付与する権利（命名権・ネーミングライツ）の

販売や村ホームページ上のバナー広告、封筒や印刷物等への広告を募るなど、新たな自主財源の確保を調査研究していきたい。

問 委託事業や指定管理等、期待する政策効果が生み出されているか。

答 現在、村で外部に業務委託している大きなものとしては、平成23年度から特定環境保全公下水道事業並びに農業集落排水事業の使用料の徴収事務を会津若松市水道部に、平成25年度からは学校給食業務を会津坂下町に委託している。また、指定管理として、湯川村デイサービスセンター、湯川村高齢者コミュニティセンター、湯川村地域活性化施設（たから館）、道の駅の施設管理運営業務を委託しており費用算定にあたっては、十分に調査し村財政の圧迫にならないよう費用対効果について

検証していきたい。

【意見】

効率的な財政運営を進めるため、費用対効果に注意を払う必要がある。

施設管理等の全庁一元化や専門職の導入等、社会情勢の変化に伴い、政策改善を全庁的に問題意識を持つことが大切ではないか。

国宝保全にクラウドファンディング（注）の活用を！

問 地域おこし事業（空き家対策等）に企業版ふるさと納税を絡めたクラウドファンディングの考えはあるか？

答 内閣府では、寄付額の上限の引き上げ、制度の期限の延長を検討しており、国での改正状況を見ながら制度の活用について検討を進めていきたい。

問 国宝の保存、空調をしっかりとしたものとするためにも、クラウドファンディングの活用を視野に入れる必要があるのではないか？

答 ぜひ考えていきたい。



（注）不特定多数の人がインターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うこと。

村政を問う

一般質問

9月定例会

小林 孝一
議員道の駅あいづ
役員新体制で稼働

問 道の駅あいづの指導管理について、基本協定書にある村の役割をどう認識しているのか？

答 湯川・会津坂下地域振興施設は、村と「基本協定書」を締結し、指定管理者制度により施設の管理・運営を株式会社湯川会津坂下に委託している。昨年度には、株式会社湯川会津坂下での「テナント訴訟」や「内部告発」により、心配をかけたが、現在は、株式会社湯川会津坂下では、小林代表取締役のもと、社内コミュニケーションのあり方、社員教育、企業コンプライアンス強化の改善等を図っている。

問 村が提訴した裁判の結果にどのような感想を持っているか？
またそれによって何を学んだか？

答 株式会社湯川会津坂下では、テナント業者を相手とした「明け渡し請求訴訟」を行っていたが、平成31年2月28日に双方が和解に応じ、裁判は終結となった。

しかしながら、道の駅の利用者並びに道の駅の出荷者に変な心配をかけ、二度とこのような事態がおこらぬよう、会社運営の改善、安定化を図っていただきたい。

また、村では、一連の裁判を通じて、行政組織の運営と、民間会社の運営の相違点、民間会社の運営の難しさを再認識したところがある。

問 新たな訴訟問題が取り沙汰されているがどのような内容か？

答 令和元年8月22日付けで、前駅長から裁判所へ会社に対する訴状の提出があり、9月4日に会社に訴状が届き、同日付

けで受領した旨報告を受けている。現在、顧問弁護士が訴状内容を確認中であり、9月下旬に顧問弁護士から説明を受けた後、今後の具体的な対応について協議するようである。

問 前社長の責任についてはどうにお考えか？

答 経営者としての責任を認め、報酬を1か月分返納したと認識している。

会津湯川ファーム
病害虫防除対応ドローンの導入検討

問 湯川ファームの今後の役割について、集積面積の増加への対応策として、自己育苗、病害虫防除への取組みを考慮すべきと考えるがどうか？

答 自己育苗については、今後いち早く取

組まなければならない部分であると考えており、現在村においても、湯川ファームの事務所・倉庫等の整備について検討している。その中で自己育苗が出来る施設等の整備についても併せて検討している。



刈り取り作業がピークを迎えた会津湯川ファーム

総務文教常任委員会行政 調査報告(7月18日)

ゆがわ幼稚園

副食給食の試食と懇談

総務文教常任副委員長 片桐 英子

副食給食の献立では手作りのハヤシライスと野菜スープとサラダ。薄味でおいしかったのですが、野菜サラダは加熱しており、集団給食の苦労が推測されました。

懇談では、教育次長より説明を受けました。添加物の多い、加工食品は使用しない。(委託業者との契約書に保育所給食の趣旨を充分認識すると明記されている) 食材購入は市場からであり湯川産のとは指示でき



園児と同じ給食を食べる議員

ない。また、地元の方の食材提供は受け入れていないということでした。預かり保育のおやつについては、せんべい系と甘い系を組み合わせ、麦茶を提供。懇談では、保護者に希望をとり、おやつ持参も可能にしたかどうかという意見がありました。園では、フッ素洗口で虫歯予防に力を入れており、食習慣形成で大切な時期。おやつに関する課題は大きいといえます。

第32回両沼地方議会議員 大会報告(7月29日)

経済常任委員 菅沼 弘志

去る7月29日(月) 会津美里町新庁舎いわゆる「じげんプラザ」において、第32回両沼地方議会議員大会が開催されました。

開会に先立ち、新庁舎内の「議場」を一目見聞しようと真新しい会議室を拝見しました。この際、会津美里町議会議長が案内・説明をしてくださいました。大会は、2年に1度、両沼地方管内の政治課題解決のために開催されてきましたが、両沼地方7町村の持ち回りで行われるものです。

主催者あいさつの後、全国表彰、県表彰、両沼表彰がありました。が、全国表彰では菅沼弘志議員が15年表

彰の紹介を受けました。

県要望は、両沼各町村から身近で切実な要望を決議事項の中で確認しますが、当村からは、小林孝一経済常任委員長から、「一般県道浜崎・高野・会津坂下線の整備促進について」、「一般県道熊の目・浜崎線の整備促進について」の2つの事項を朗読し、満場一致で採択されました。両沼地方からは11の要望事項が決議され、大会は成功裏のうちに幕を閉じました。



壇上で要望を述べる
小林委員長

広報広聴委員会研修会報告 (9月24日)

広報広聴委員長 篠竹 正弘

広報研修会とは年4回発行する議会だより制作のための勉強会です。

研修は、読者目線で親切な広報誌を作るには「手に取られ読まれ、行動に結びつけるには」「情報はわかりやすく伝える」をテーマに開催さ

れました。優先されるのは住民と課題を共有し、プロセスより、何が課題なのかを伝えることです。課題があるから質問、審議、研修があるということでした。

議会だよりにより、住民とコミュニケーションを深め、つながりを感じてもらい、議会へ興味を示していただく内容・関心にこたえる企画をめざし広報していくことが重要となります。議会だよりを住民目線に立ったものにし、コミュニケーションは受け手により成立することを忘れずに委員会活動をすべきと考えさせられる研修となりました。



全国各地から広報委員が参加
(東京都 シェーンバツハサボーにて)

行政調査報告【愛媛県砥部町】

9月2日

地域活性化・子育て 支援関連施策

〽 研修を終えて 〽

総務文教常任委員長 高倉 好博
「ブランドマークの取り組みについ
て」

今年はブランドマーク政策の取り組みについて愛媛県砥部町に赴き研修をしてきました。ブランドマークはまだ本村にはありません。研修でいろいろと経緯を聞いてみると砥部町では組合や企業などでPRするロゴマークが独自につくられており、そのイメージが砥部町を冠するものにつながっていなかったのがきっかけだったようです。

そこで、「それを見れば砥部町をイメージできる」というブランドマークを作成し、町内外に広く周知発信することで町の活性化等に役立てようと考えたそうです。それでできたのが五弁の梅の花びらに五つの唐

草を配したデザインが誕生し様々な使用例が示されています。

これからは地域間競争が激しくなってくると思います。湯川村でもふるさと納税の返礼品の米袋等にロゴマークなど使用され、湯川村が全国に知られていければと思うばかりでした。

あそびべ、とべ。



四国 | えひめ
砥部
T O B E

砥部町ブランドマーク



砥部町集合

「ファミリーサポートセンターの取り組みについて」

もう一つ砥部町で研修してきたことがあります。それは子育てサポート事業「とべファミリーサポートセンター」の取り組みについてであります。これは育児を助けてほしい方とお手伝いしたい方が会員となり連携して育児を助け合う有償ボランティアの会員組織です。我が湯川村でも預かり保育や児童クラブがありますが、砥部町での取り組みは次のような内容です。

- ・塾や習いごとなどの送迎
- ・病児病後児の預かり援助
- ・保護者等の外出の場合の援助
- ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助
- ・保護者がリフレッシュしたい時の援助

など、様々な面での援助があると感じてきました。

しかし、実際に動けるサポート会員の確保など課題もあるとのことでした。子育てに関しては砥部町も我が湯川村においてもこれでいいという結論は出ないと痛感した次第です。



行政調査報告【香川県まんのう町】

9月3日

地域活性化・農業関連施策

ひまわりオイル事業での地域活性化／研修から学んだこと



まんのう町集合

経済常任委員長 小林 孝一

香川県まんのう町は、人口18,000人ほどの町で、高齢化率は36%と年々高くなっています。町の基幹産業は本村同様、農業で、水稲や野菜栽培が中心で、兼業農家が多く

規模も小さいということでした。

まんのう町では、ひまわりを使っ

た地域振興に取り組んでいます。始まりは平成元年にさかのぼりますが、休耕地の転作作物として観賞用に作

付されました。平成12年には地元主体の「ひまわり祭り」が開催された

ことを契機に、多くの人が町内外から訪れるようになり、平成25年に

「豊かなむらづくり表彰事業」で農林水産大臣賞を受賞しております。

しかし、その後生産者の高齢化が進み、後継者の慢性的な不足に陥っ

てきたことから、六次産業化に目を付け、次の3つの観点から農業の振

興を図りました。

①【拠点の整備】

小学校の校舎をリノベーションし、ひまわり油の加工から瓶詰まで行う

プラントの整備

②【ブランディング化の構築】

地元香川県の銀行と連携協定を提携し、「まんのうひまわりちゃん」と

いう朝ドラ風のネットドラマを上映。さらに、名称をひまわり油から「ひ

まわりオイル」に変更

③【人の育成】

総務省の地域おこし協力隊制度を

活用し、やる気のある人材3名を採用

この結果、作付面積は20haを超え、今では東京の有名百貨店で販売されるほどになりました。

さて、本村にも畑を中心に遊休農地が存在し、これといった対策もな

いまま時間が経過しています。農地の保全是大変大きな問題です。本村

にひまわり畑はありませんが、農地を荒らさずに、そこから地域振興を

図るという観点では大変いい研修となりました。

「拠点整備」、「ブランド化」、そして「人材育成」、3つのポイント



まんのう町ひまわり施設視察

から本村に生かせるものはないか、今一度考えてみたいものです。

議会運営関連施策

議会への

タブレット導入について

議会運営委員長 篠竹 正弘

全国で導入が進んでいる「ペーパーレス議会」タブレット導入について研修しました。

タブレットとはスマホ機能を持つ10インチサイズほどの端末です。セキュリティ問題もあり導入している他町村では紙ベースとの併用が主流です。

導入のメリットとして、①議員と事務局との連絡通信、②議会・委員会活動におけるカメラ機能の活用、③執行部における資料や議案書等の印刷製本作業時間の短縮、④情報伝達のリアルタイム化等があげられます。

しかし、導入には初期投資、維持費が必要であり、費用対効果を検証する必要があります。いずれにしても、ペーパーレス化と環境・社会にやさしい取り組みは必要と思われるので、本議会も導入を進めたいと考えました。

湯川村議会の主な動き

- 7月 4日 議会全員協議会
 5日 両沼地方町村議会議長会臨時総会・行政懇談会
 7日 第72回県民スポーツ大会両沼大会（柳津町 議長）
 第33回在京湯川会総会（東京都 議長）
 10日 湯川村青少年育成村民会議総会（議長）
 森まさこ個人演説会（会津坂下町 議長）
 水野さちこ個人演説会（会津若松市 副議長）
 11日 会津若松熱塩加納自転車道促進期成同盟会総会（会津若松市 議長）
 15日 第24回ゆがわ村民芸能発表会（議員） **写真**
 18日 総務文教常任委員会行政調査（議員）
 23日 広報広聴委員会
 暴力団根絶会津坂下地区村民会議（会津坂下町 議長）
 25日 会総協本省庁要望及び顧問国会議員要望（～26日）
 28日 日橋川川の祭典
 29日 第32回両沼地方町村議会議員大会（会津美里町 議員）
 8月 2日 議会全員協議会
 5日 平成30年度会計決算審査（～9日）
 8日 第53回全会津商工観光推進大会（桧枝岐村 議長）
 15日 成人式（議員） **写真**
 18日 ゆがわ2019夏まつり
 21日 町村議会議長・事務局長研修会（～22日）
 22日 道の駅あいづ湯川・会津坂下との意見交換会
 27日 両沼町村議会議長行政調査（富山県・入善町）
 29日 「会津縦貫道」整備促進に係る平成30年度福島県要望（福島市 議長）
 9月 1日 村民運動会 **写真**
 2日 県外行政調査（愛媛県砥部町・香川県まんのう町）（～4日）
 6日 議会運営委員会、議会全員協議会
 12日 第530回湯川村議会定例会（～20日）
 13日 交通安全鼓笛隊パレード
 15日 敬老会
 24日 町村議会広報研修会（～25日）
 28日 ゆがわ幼稚園運動会
 30日 議会改革特別委員会視察研修（西会津町）
 10月 5日 第36回両沼地方交通安全町村民大会（昭和村 議長）
 6日 第14回湯川村新米祭
 8日 第6回市町村対抗ソフトボール大会湯川村チーム結団式
 13日 新鶴ワインまつり（会津美里町 議長）
 第6回市町村対抗ソフトボール大会湯川村チーム応援（南相馬市 副議長）
 15日 町村議会議員研修会（郡山市 議員）
 16日 ふるさと納税「会津湯川米」第一便出発式
 福島大学70周年記念・食農学類設置記念式典（福島市 議長）



村民芸能発表会(ひょっこり)



成人式



村民運動会(パン食い競争)

第9回 村民と議会の意見交換会を 開催

日時 11月24日（日）
午前10時～

場所 ユースピアゆがわ

※詳細については後日チラシを
配布いたします。

議会広報広聴委員会

高菅小 片 篠
倉沼林 委 桐 副 竹 委
好弘孝 員 英 員 正 員
博志一 子 弘

う生「水まりりく たのを小う大「て とるれ減はしのーんの国目何情
涯ベ化ししでい気方し学絵統世のま 言こばに「て声私の16連をが報メ
元ジ物た。甘、津変本もし年にので際、 ては地剣のそ間言道の候ち切流イ
気フ「美い湯盆動で読た生なすい会地い出球に10のい葉は高行たかれア
でアは「最し評米。響。で、読て「ばで環すな境り間学下り撃生サも選きら、
（片過「食米てつまじ だ大かすとし言つ ころにな2「学シタトすきが々
桐「ストにおれも米感 いぜみいちんの境 いは組C者さ、的グミの折ま、
英ま「食米てつまじ だ大かすとし言つ ころにな2「学シタトすきが々
子しでべ（炭いちに き人せ。いいがい

編集後記